(敬称略 <m(_ _)m> 次の各先生方)　　大西・松下・田中・麻野間・大榎・數越・長坂・佐伯・中澤・南・楠本・稲葉・矢頭・繁戸・森川洋・西田・伊藤・塩谷・濱

SSH 実施報告書の原稿作成に関する打合せ内容(2012.12.11)の変更

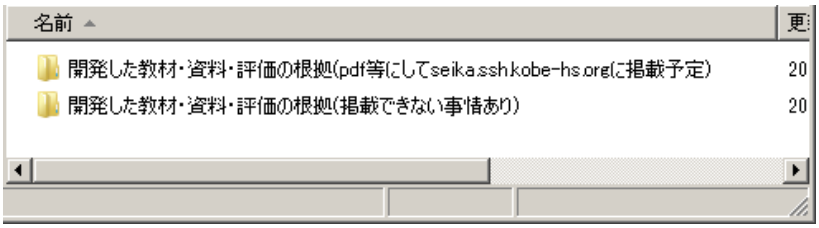
2013 年 2 月 14 日配布

そろそろ原稿の作成を始められた頃かと思います。12 月 11 日の打ち合わせ事項の変更点をお知らせします。

分担と注意点

・開発した教材の実物を、根拠としてご提出ください。⇒Web(http://seika.ssh.kobe-hs.org 等)で公開

この項で変更点はありませんが、開発した教材や資料を充実させてくださいますよう、お願いいたします。共有フォルダの各提出先には、右のようなフォルダを作りました。pdf ファイル等に加工する作業は総合理学部で行いますので、Web で作成物等(根拠)を公開することにご協力ください。



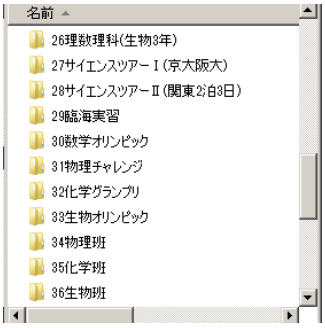
今後の日程など

・報告書提出依頼は２月中旬に届くと思われる。~~２００ページ以内、提出締切は３月２６日(火)必着か~~。

※　変更がありました。上限 100 ページ(昨年の半分)、文部科学省への提出締切は 3 月 28 日(木)必着です。

・原稿締切 ~~2/28(木)　⇒　3/1(金)集計開始~~。

※　提出締切が2日延びたので、原稿の締切を3月4日(月) 9:00(厳守)とします。おひとりでも未提出があると集計・分析にすすめませんので、締め切りを必ずお守りください。よろしくお願いします。



・参考資料（昨年度までの原稿等）の場所：

共有フォルダ¥総合理学部¥★2012 年度 SSH 評価(報告書)★

・原稿の提出先：上(↑)のフォルダ内の【報告書原稿提出先】2012 年度担当者 というフォルダです。

【追加】原稿作成に関するお願い

上限は 100 ページですが、必須の「実施報告（要約)」「成果と課題の詳細」、「実施の効果と評価・成果の普及」に 15～20 ページ程度必要です。さらに「関係資料」も委員会議事録等は載せる必要があります。これらを差し引くと、1 つの事業あたり2～3ページが目安になります。2ページ弱で済む行事もありますので、4ページを超える事業があっても大丈夫ですが、できるだけ簡潔かつ濃密な内容にしてください。次のご協力をお願いします。

・本文は箇条書きを多用してください。

・細かいタイトルは必要に応じてまとめたり、省いたりしてください。

・例えば「●●は実施なし」「●●は分析せず」等、省いても影響が少ない言葉は積極的に省略してください。

・教材や資料（事業評価の根拠）は上記 Web に pdf で載せることを前提として「http://seika.ssh.kobe-hs.org 参照」と記載してください。原稿の最後に、「関係資料(1)・・・・～（5)・・・・を http://seika.・・・に掲載する」のような表現でも構いません。

※ 根拠は省けませんので、資料等の掲載については、積極的な Web(http://seika.ssh.kobe-hs.org)活用にご協力ください！　それは「成果の普及」の実績にもなります。